**[　聞く・聞こえる　]**

岡本北小学校「ことばの教室」だより　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　R６,６,１７

　　　　　　　**しゃぼんだま　　６月号**

**ことばの学習の最初の段階は「正しく聞く」ことにあります。では「聞く」**

**とはなんでしょう？**

**だれかと話をしている時,音楽を聴いている時,私たちの耳にはその他**

**の様々な音が「聞こえて」います。車の走る音,子共が道路で遊ぶ音,台所の水の音,時計が時刻む音・・・。そんな無数の音の中から,私たちは,自分で特定の音を選び出し,「聞いて」いるのです。**

**言葉の教室での私たちが指導をする声も,家庭で保護者の方がお子様に話しかけるときの声も,子共達にとって,対象となる音が「聞こえている」だけでは何の意味ももちません。子供たちが自分の意志で聞こうとしなければ,その声は,流れ去る雑多な音の一つでしかないのです。**

**「聞いているだけ」で学力が伸びたり,「聞き流すだけ」で英語が身についたりする教材が役に立ったことは,少なくとも私はありません。**

**お子様と話をするとき,まずはテレビや音楽はとめましょう。肩をたたいたり,手をとって向き合ったり,目と目をしっかり見つめあって話しかけましょう。静かな環境の中で話しかける親の声に,子供は諭され,励まされ,方向性を確認し,自信を得て歩いて行けるのだと・・・自戒を込めて思います。**

　　　　　**「かむ」食のありかた**

先月号と重複しますが。ある研究によると,左記の舌の動きに大きく関わるものが幼児期からの「食習慣」である場合が多くみられるそうです。

・奥歯で噛んで食べない

・ガムをかんだ経験がない

・汁かけご飯が多い

・麺やパスタが多い

・偏食がある

・生野菜が嫌い

・固い肉は食べない

もちろん,構音の誤りの原因は多岐にわたります。多くの要因の一部分ではあるように思います。しかし「噛む」こと

が脳の発達等にも関

係するという研究も

あります。とりあえず

噛むことが必要な食

事を多くするのはい

かがでしょうか？

**構音の課題を抱える子の舌の動きの特徴**

①舌の使い方

・構音時に舌先が使われない

・舌全体が奥に引っ込み,中央部が盛り上がる

②舌を出したとき

・舌がすぐに引っ込む

・細く尖った舌になる

・舌の縁が薄く,ひらひら動く

・舌先が尖ったまま上向きになる

・舌全体が波打ち,安定しない

・舌背,中央部や奥が盛り上がる

●これらの状態での構音指導は効果がないため,まず舌運動訓練を行い,舌の可動域を改善させるための取り組みに時間をかけてきます。私たちが言う「丸い平らな舌」いわゆる「ホットケーキの舌」の形成が構音指導の第一ステップということです。

　実際にはこの練習は,毎時間発音練習と組み合わせて行っていますが,舌運動の改善には多くの時間がかかるのが現状です。長期的なスパンで支援をお願いします。

